

第 45 号

か 住

加住市民センター

令和7年
3月20日発行

加 住 地 区 住 民 協 議 会
(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団

八王子市加住町1-338
電話 042-691-5215
FAX 042-696-3203

第20回

ご来場ありがとうございました！

加住市民センターまつり



舞台のはじめは伝統の宮下囃子から



文化展には力作がズラリ



大好評を博したタヒチアンダンス



2日目の輪投げは皆さん真剣そのもの

加住市民センターまつり（11月2日(土)・3日(日)）は、本年度も多くの来場者で賑わいました。1日目は演芸・演武披露や演歌歌手のステージ、模擬店の出店、お茶会、武州八王子下原刀研究会による展示と講座などイベントが目白押し。雨模様のため、夕方の星空観望会は中止されたものの、充実の1日となりました。2日目は輪投げ大会を開催。加住地区各地から愛好者が参加されました。また、両日にわたり文化展が開催され、加住市民センターはさながら「文化の殿堂」といった雰囲気となりました。

第20回加住市民センターまつり「ダイジェスト」



加住小中学校少林寺拳法部
今年も全国レベルの活躍です



祝！名誉都民
澤井伸さん(高月町)



センターまつりならではの
コラボセッション



書道教室・茶道教室
日頃の成果が存分に
発揮されました



華麗なステージ 藤代舞さん、壇上の皆さんに大盛り上がり！



文化展 地域から多くの出展がありました



子どものコーナー
くじびき・的当て・おも
ちゃの販売など楽しい
企画がいっぱいでした



スクールファームと模擬店 売切が続出で大盛況でした



北条氏照と下原刀照重展
貴重な刀剣の展示と
講演会が開催されました



輪投げ大会
今年も高得点者が続出！
汗を流した後は炊き出しの豚汁
に舌鼓を打ちました



北海道を支援 美味しくホタテが焼けました



特別寄稿

山城！中田塾 「領主氏照と領民」(2)

日本が世界に誇る山城を愛し、調査研究に人生を捧げる「山城の塾長」こと、元加住小学校教諭の中田正光さん(中世城郭研究家、丸山町在住)による、加住地区住民への「山城案内・入門書」第二回。筆者は歴史を学び次世代を担う若者を育てるべく活動中。

武田軍の史料の中に、「男女を生け取りになされ候て、悉く甲州へ引き越し申し候、去程に二貫・三貫・五貫・拾貫にても親類ある人は承け申し候」とあります。捕らわれた男女の多くは、人商い(人買い商人)に売り飛ばされますが、もし、被害者に親類がいた場合は、二貫から一〇貫の値段で売られていました。現在の金額に換算すると、およそ二〇万円から一〇〇万円といったところですが、そんな大金(身代金)を払えるわけがなく、大切な農耕用牛馬や穀物類と引き換えに、被害者を取り戻すことが多かったようです。

こうした無差別な戦争行為を「乱取り」といいますが、当時の戦国合戦の大部分が、乱暴狼藉による戦いでした。つまり、合戦による乱取りは、従軍した雑兵(足軽や農兵)たちへの報酬に等しかったのです。

戦乱の惨禍から、領民である村人たちを乱取りから守るため、氏照は安全と思われていた滝山城内へ避難させていました。領主氏照と領民との間には契約があり、年貢納入及び城の維持管理は領民の責務、一方、緊急時に敵の乱取りから領民の命や財産を守るのが領主氏照の義務というように、「持ちつ持たれつ」の関係が存在していました。滝山城は領域の政庁(役所)の役目と同時に、領民の避難場所としての役割も担いました。(完)

加住を知る～加住市民センター図書室地域資料コーナー蔵書紹介～

第2回 霞よし穂(三橋良雄)著『八王子ふるさと風土図・I 加住丘陵編』



加住市民センター図書室の地域資料から、当地にまつわる文献を紹介。今回は昭和の古老が著した『八王子ふるさと風土図・I 加住丘陵編』。

現在の宮下町に生まれ育った著者は、旧加住村村議会議員や農業協同組合理事長を歴任する傍ら、地域を代表する郷土史家としても活躍し、子どもたちに加住地区の歴史と伝統的暮らしを伝える活動もしていた。

本書の構成は加住村の旧大字単位で、そこに簡潔な文章と豊富な挿絵が散りばめられ、地域の歴史と民俗を遺したい、若い世代に伝えたい、との努力の跡が滲み出る労作である。

私たちの加住を知るための最初の一冊として、ぜひお薦めしたい。新刊販売は無いが、閲覧は加住市民センター図書室や市内図書館等で可能。

＊お花見にお出かけください＊ 第60回 滝山城跡桜まつり

日 時 令和7年4月5日(土)
9:30～15:00 (※荒天時6日)

会 場 滝山城跡 中の丸広場ほか
内 容

- ◎宮下囃子 ◎地元有志の演芸
- ◎歌謡ショー (伊達めぐみさん・藤代舞さん)
- ◎鉢形城鉄砲衆出陣 ◎少林寺拳法演武
- ◎ポニーと遊ぼう ◎豚汁や甘酒の販売
- ◎野点サービスなど

滝山城跡桜まつり第60回を記念し、
姉妹都市寄居町から鉄砲衆が見参。
その雄姿とどうぞご堪能ください!!



加住地区三団体研修会 令和6年10月6日(日)に行われる



令和6年10月6日(日)、毎年恒例となっている、加住地区三団体(加住地区町会・自治会連合会、加住地区住民協議会、滝山城跡文化協会)研修会が実施されました。

当日は、私たちが暮らす地域と他県における防災対応の比較検討を試みる目的で、午前中に厚木市の神奈川県総合防災センターを訪問しました。災害・防災関連資料の閲覧により災害への備えを学び、実際の災害を体感できる装置を体験。震度7の揺れや風速30メートルの台風を想定した装置は、想像を絶する衝撃でした。また偶然にも、当日は市内の由井地区住民協議会も同センター視察を実施しており、八王子市民の防災意識の高まりを改めて感じました。

午後からは、横浜市の中瀬街・みなとみらい地区・赤レンガ倉庫などを見学しました。

今回は総勢32名での視察研修でしたが、それぞれが災害から地域や家庭を守る方法に思いをいたすとともに、地域住民相互の関係構築や親睦の重要性を学ぶ機会となった一日でした。

広報編集を担当して一年となります。ありがたいことに、最近「広報を読んだよ!」とよく声を掛けていただきます。まずは読んでいただけたことが嬉しいですし、皆さまからのご意見・ご感想は私たちの励みになります。今後とも「誌上住民協議会」を皆さまにお楽しみいただけるよう、頑張ります。

◆◆◆編集後記◆◆◆